2015
第13号

長野県議会議員

清水じゅんこ
長野県議会だより

新ながの・公明
発行責任者　小松千万蔵

長野県庁
長野市大字南長野字幅下692-2
☎026-232-0111（県庁代表）

ごあいさつ

こんにちは。清水じゅんこです。

この度、皆様から力強いご支援を頂き、2期目の当選をさせて頂きました。

これからも、夢や希望をもって暮らしていける上田・小県地域を築いていくために、皆様のお声やご要望を形にし続けて参ります。

未来に輝く上田・小県

清水じゅんこの3つのビジョン

1 安心して元気に暮らせる上田・小県

●地域包括ケアシステムの構築

◆住み慣れた上小で医療、介護、生活支援などを総合的に受けられる「地域包括ケアシステム」を構築

◆認知症対策として「認知症地域拠点病院の増設や初期集中支援チームのっ実施などにより早期発見・早期治療の体制を構築

●信州上田医療センターのさらなる拡充

◆より高度で専門的な医療を行う「急性期医療」を拡充

◆県内のがん治療の一大拠点をめざし、医療環境を充実

2 夢を形に！一人が輝く上田・小県

●女性・若者・高齢者の活躍を応援

◆女性専用のハローワーク機能をもった窓口を各市町村に設置

◆若者のUターン、Iターン就職のための、雇用機会を創出

◆高齢者が多様な能力を発揮するための、企業・地域社会の環境整備

●子どもの教育環境の充実と支援

◆いじめのない教育の実現へ、スクールカウンセラーや養護教諭を増員

3 郷土の魅力で経済再生発展する上田・小県

●上小が誇る「ものづくり力」で経済を活性化

●上小の魅力を生かした観光業の発展

●地域活性化への体制構築

◆上小と松本地域をむすぶ「国道143号線青木峠新トンネル」の整備を推進

◆都市部から若者が移住し、共に地域おこしに従事する「地域おこし協力隊」をさらに推進

皆様のお声が形になりました

「職場いきいきアドバンストカンパニー」認証制度スタート

仕事と家庭の両立が出来る職場環境や雇用の安定のため、短時間正社員制度、非正規社員の正社員の転換制度などの多様な働き方等の制度を導入・実践企業を認証し、県ホームページによる発信、認証マーク使用のインセンティブを与えることで取組を促進する制度です。

6月 June 県議会一般質問要旨

1 医療費窓口無料化導入について

Q1 子どもの医療費の窓口無料化をぜひ実現をしていただきたいと考えますが、そのための現状の課題について伺う。

A1 【小林健康福祉部長】
主に３つの課題があると考える。１点目は医療機関の窓口での支払いがないことから、受給者のコスト意識が確保できず、医療機関への重複あるいは頻回受診といったものや、休日・夜間などの安易な受診が増加することによる医療費の増という懸念があることである。２点目は休日・夜間の受給者が増加した場合には、これに対応するための医療機関の体制に混乱が生じるのではないかという危惧がある。
３点目は、国における窓口無料化の実施市町村に対する国民健康保険国庫負担金の減額調整額、あるいは、健康保険組合から被保健者に対する附加給付額分について、自治体に大きな負担が生じるということである。窓口での支払いが経済的に困難な方々については、市町村が実施する「福祉医療費資金貸付制度」の運用などによって負担軽減を図っている。

Q2 子どもの医療費の無料化の問題は、出生率の低下への取組が国の存亡をかけて行わなくてはならない状況の中で、この問題は、国・地方が一体となって千恵を出し、連携して取り組む必要性があると考える。公明党県議団としても、引き続き国との連携の中で、国保減額措置のペナルティの廃止にしっかりと取り組んでいくが、減額措置が撤廃されれば、子どもの医療費の窓口無料化の早期実現がされるよう、知事もぜひ市町村とともに検討していただきたいことを要望する。

A2 【阿部知事】
国保減額措置が廃止されるということは、これまでいろいろ議論してきて、検討の前提条件が大変大きく変わっていくことになると思う。
今後の国の動向をしっかり注視するとともに、私としては長野県の子育てをされている皆様方のご要望をしっかり踏まえて、子どもの医療費についても国保減額措置の廃止がなされれば、検討していきたいと思っている。

連絡先
お気軽に、直接お問い合わせください。
所在地▶〒386-1102　上田市上田原707－３　クラエンタービル104号
☎　▶0268-75-7279　　ＦＡＸ▶0268-75-7706
e-mail▶shimizu.jyunko@orange.plala.or.jp

2 子ども若者の切れ目のない学びと支援について

Q1 包括的な組織づくりについて

子ども若ものに関する全ての課題を包括的にサポートし、さらに教育委員会とも今以上に密接な連携を図ることのできる「こども若者局（仮称）」を県民文化部の中に創設することを提案する。

A1 【阿部知事】
全庁上げての子ども若者支援に取り組んでいきたいと思っているが、今後時代が求める組織の在り方を、その時々にあわせて考えていかなければいけないので体制強化については今後の研究課題とさせていただきたいと思う。。

Q2 恒常的な財源確保について

年々深刻化する子ども若者を取り巻く諸課題に対する支援人材の確保や環境整備等を拡充するための財源確保が緊急に求められているが、行政と民間企業が連携して幅広い資金集めが可能となるような「子ども若者ひとづくりファンド」（仮称）の創設を提案し、知事のご所見を伺う。

A2 【阿部知事】
将来に向けての財源の確保は、ご指摘のとおり大変重要な課題だと思っているし、また、民間の皆さんも一緒になって行動し、取り組んでいただくことが極めて重要な分野だと思っている。
この子ども若者支援は地方創生の重要なテーマだと思っている。
基金の創設等も含めて幅広く考えていきたい。

Q3 シンクタンクの設立について

子ども教育分野について20年先を見通せる先進的な施策立案のための基礎研究を専門的かつ集中的に行う研究専門機関、つまりシンクタンクの設立を提案する。所見を伺う。

A3 【阿部知事】
私も人づくり、教育というものはやはり、短期の視点だけではなくて、むしろ中長期の視点が重要だと思っている。長期の視点に立ちつつ、専門的な知見をどう県として取り込んでいくかということが大変大事だと思っている。
シンクタンク的な機能を、どういう形でどういう風に構築していくかということは、今後幅広く、教育委員会あるいは関係者等のご意見等を伺いながら研究していきたいと考えている。

Junko Shimizu Activity Report

主な活動の報告

環境・産業・観光委員会

長野県日中友好協会定期大会
(汪婉中国大使夫人と上田日中池上会長と)

NPO法人JCIテレワーカーズネットワーク（徳島県）視察　障がい者テレワークの推進について

ネパール大地震被害者支援の会による募金活動に参加

真田地域ホットステイ受入のお手伝いに

知事要望(7月)

ナノジャパンプログラムに参加する
米国学生受け入れ参加

街頭！「平和の党」公明党！
力いっぱい訴えます！